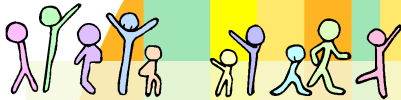


# 土木会通信 第7号 平成25年11月30日

## 学科長就任ご挨拶

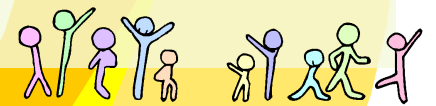
岡田 昌彰 教授



10月1日付で学科長に就任致しました、岡田昌彰と申します。  
よろしくお願い致します。

小生は10年前、2003年4月に近畿大学に赴任致しました。  
10年という年月があまりにも短く感じられる一方、小生のごとき若輩に  
このような大役を頂きますこと、誠に恐縮している次第です。  
先般、近大土木会の交流会におきましては、数多くのOB、OGの皆様から  
たいへん有意義なお話を頂きました。現役の学生のみならず我々教員一同に  
とりましても、社会環境工学科の未来について親身にご意見を頂くこと  
のできる土木会の存在は真に有難く、貴重であると改めて実感致しました。  
なお、OB、OGの皆様からは、交流会への学生の参加をもっと促すべしと  
ご意見を数多く頂きました。現役学生にとりましても、さまざまな分野にて  
ご活躍されている先輩方との交流は、土木分野の活躍の場を理解する上でも  
きわめて貴重な機会となりますので、今後より一層、学生にも近大土木会の意義を  
PRしていきたいと考えています。

近大土木会の皆様におかれましては今後もさらなるご助力・ご指導を頂きますよう、何卒よろしくお  
願い申し上げます。



平成25年10月5日(土)  
交流会開催の様子

# 平成 25 年度在外研究報告

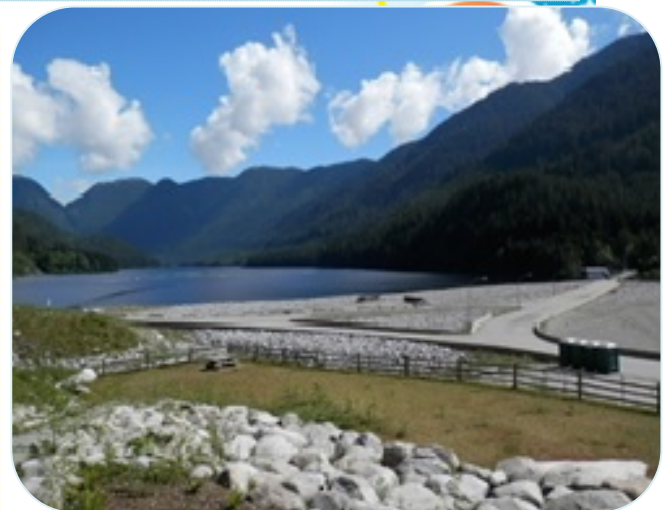
嶋津 治希 准教授

平素より、近畿大学土木会の皆様におかれましては、学科の教育・研究に対して多大なるご理解とご協力をいただき、誠に有難うございます。さて私、2013年4月よりカナダ・サイモンフレーザー大学環境学部にて在外研究の機会を頂いて、バンクーバーに滞在しておりますので、現況報告を簡単にさせていただきます。

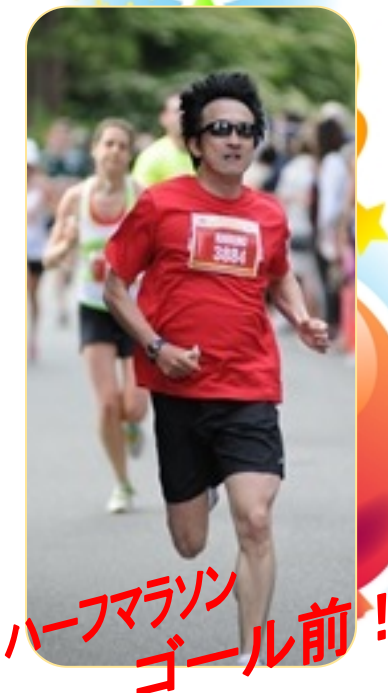
こちらでは資源環境管理学科・環境毒性学研究グループに所属し、微量有機汚染物質の生物濃縮、環境リスク評価、自然界における生物濃縮シミュレーションモデルに関する研究を行っています。日本は、汚染物質の生物濃縮が引き起こした水俣病、イタイイタイ病といった重大な症例を有していることもあり、いまだに触れられにくい分野であり続けますが、有害化学物質の規制設定にとっては重要な情報となります。現在、日本は水、大気を中心に環境中濃度、施設からの排出濃度による規制に重きを置いています。環境へ排出された有害化学物質がどのようなルートで人・生物に辿りつき、悪影響を及ぼすのかを明らかにできると本当に意味のある規制指標を作ることが可能になります。調査・評価すべき対象が莫大で、短期に答えが得られる分野ではありませんが、今後の研究の足がかりとなるものを掴みたいと考えています。

さて話しは変わりますが、私は衛生工学の出身ですので浄水場、下水処理場、廃棄物処分場といった都市の静脈施設にも興味があります。こちらの水資源グループの研究員・学生の計らいでビクトリア市の浄水場見学が出来ました。日本の一般的な浄水処理の流れですが、(ダムや河川から取水)→(凝集剤でフロック形成)→(フロック沈殿除去)→(急速ろ過)→(塩素処理)ですが、ビクトリア市の浄水処理は、(保護地区の湖から取水)→(紫外線処理)→(塩素処理)で、日本と比較して非常にシンプルです。濁質成分が少ないので、凝集剤を使用する必要がないのですが、一方で水源にジアルジア、クリプトスポリジウムといった病原性微生物が検出されるので、紫外線処理を導入しています。また、水源の湖は関係者以外は立入り禁止で、水源を重要視していると感じます。日本と諸々の事情が違うので、すべてを適用することは無理ですが、考え方はいろいろと勉強となるところがあります。まだ少し時間があるので、下水処理場、廃棄物処分場を訪問する機会があれば、後日、報告したいと思います。

また、ここ数年、めっきり落ちた体力を取り戻すべく、こちらでいろいろなスポーツにチャレンジして復活するというのも密かな目標です。大学には自由に使える400mトラックがありますので、陸上の練習を始めました。これまでにハーフマラソンを含め4回のレースに出場し、5kmレースで年代別ですが、幸運にも優勝しました。この調子で頑張っ、日本出発前の体力より5歳ぐらいは若返って、来年3月には帰国したいと思います。帰国後も、いろいろとお世話になると存じますが、ご指導ご鞭撻の程、よろしく願いいたします



バンクーバー市の水源の一つである Seymour 湖とダム堰堤。この湖もダムより奥は立入り禁止。ダムも駐車場から 10km の山道を徒歩か自転車でないと入れません。水の透明さ、景色が最高です。



ハーフマラソン  
ゴール前!



# 常任幹事会開催

平成25年10月5日(土)午後12時30分から、近畿大学土木会常任幹事会が開催されました。

18名の役員の出席があり、今後の土木会活動を中心に話し合われました。(議事録はホームページに掲載しています)



## キャンパスツアーは 思い出ツアー

平成25年10月5日(土)  
役員会後、交流会までの時間を  
利用して開催されました。



(38号館階上からのEキャンパス)

### キャンパスツアールート

33号館→39号館→38号→Eキャンパス→

11号館前→芝生広場→英語村(e-cube)

参加者は5名、それぞれ年代も違い、学生時代の学内の様子も違って、39号館の所が最近まで広場だったのが、「私の時は、実験棟だった。」、15号館では、「ここは農学部だった。」 11号館にある食堂は、「昔と変わってないね。」「ここはグラウンドだった。」新しいところが多く、感心をされていましたが、「昔ここは～～だった。」という発言が多く、皆さん当時を思い返して思い出を語られていたのが印象的でした。(案内役 柳原講師談)

# キャリア支援講演

平成 25 年 10 月 5 日(土)開催

2 年ぶりにキャリア支援講演の開催をいたしました。当日公務員講座と重なり参加する学生は 20 名でしたが、講演をされる先輩方の話を熱心に聞いていました。



## ◎講演者

国土交通省 平松 健(S.63)  
奈良県 真木 正弘(H.12、修 H.14)  
東大阪市 奥田 基樹(H.23)  
大戸 佑介(H.23)  
尼崎市 津川 直子(H.17)  
奥村組土木興業(株)  
藤森 章記(H.7、修 H.9、博満期終了)  
(株)極東技工コンサルタント  
林 信次(S.55)  
谷垣 寿春(H.24)

(敬称略 講演順)

## 【編集後記】

名簿発行作業の為休止しておりました土木会通信を再開いたしました。これからも会員の皆様と共に号を重ねていければと思っております。

引き続き皆様の原稿を募集いたします。

詳細は下記にお問合せ下さい。お待ちしております。

秋が深まり冬に向かって寒くなります。皆様お身体を大切に。



近畿大学土木会：〒581-0811 八尾市新家町 8-23-1 ☎06-6730-5880 内線 4654

e-mail: dobokkai@civileng.kindai.ac.jp

<http://wsb.cc.kindai.ac.jp/civileng/ri25/cse/dobokukai/hyoushi.htm>